

学びの広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ



「登ってみませんか！花の百名山・森吉山」

～コムコム定期講座「グッドライフ講座」～

コムコム定期講座「グッドライフ講座」が、9月27日に市民ふれあいプラザで行われ、登山ガイドの大川美紀さんが『登ってみませんか！花の百名山・森吉山』と題して講演しました。

大川さんは趣味の登山が高じて登山ガイドの資格を取得し、森吉山をはじめ、北東北の各地で案内をしています。講座では、実際に持ち歩く道具の説明のほか、花の百名山と呼ばれる由来や生息する動植物のエピソードなど、森吉山の魅力がふんだんに紹介され、受講生は興味深く聞き入りました。

また、受講生の中には登山経験がある方も多く、講座終了後も大川さんの周りで談笑が続きました。



▲大川さんから森吉山登山の魅力学ぶ受講生

ドライフラワーアレンジメント講座

～合川公民館公開講座～

合川公民館公開講座「ドライフラワーアレンジメント講座」が、10月13日に合川公民館で行われ、受講生10人が参加し、リースなどの作品作りに初めて挑戦しました。

綴子地区でハンドメイドショップ「杜の手しごとnekkō」を主宰している武田久美子さんを講師に迎え、グルーガンを用いてあけびツルのリースをはじめ、唐辛子の魔よけ飾りやカゴを使ったアレンジメントなどを制作しました。

武田さんによる初心者にも分かりやすい指導で、

受講生は熱心に世界に一つだけのオリジナルリース作りを楽しんでいました。



▲オリジナルリース作りを楽しむ受講生たち

地域とともに歩む社会教育

～北鹿地区社会教育関係委員等研修会～

平成28年度北鹿地区社会教育関係委員等研修会が、10月18日に市民ふれあいプラザで行われ、社会教育に携わる委員や一般市民など約90人が参加し、これからの社会教育の在り方を探りました。

研修会では「おはなしピッコロ」代表の保坂洋子さんが合川地区での読み聞かせボランティア活動について、大館市生涯学習奨励員の野村裕子さんが被災地支援活動について事例を発表しました。

また、「あきた森の宅配便」代表取締役の栗山奈津子さんが、天然山菜採り代行サービスの取り組みを

とおした、ここにしかない価値を発信する活動について講演し、参加者は熱心に聞き入っていました。



▲「石割観音」を披露するおはなしピッコロ会員

おやかたさ集まるべ講座

○おさるべ元気づらぶ 長岐賢一
☎090・6101・8906

郡立農林学校がなぜ七日に誕生したか！

長岐家11代当主、貞治が孤軍奮闘し、七日市に誘致できた訳とは。秋田北鷹高校（旧鷹巣農林高校）が設立されるまでの軌跡を辿ります。
日時 11月12日（土） 14時～
会場 鷹巣南小学校／入場料 無料
講師 河田弘美氏
主催 おさるべ元気づらぶ

もりよし文化交流会

○森吉公民館 ☎72・3259
演示日時 11月20日（日） 10時～15時
展示期間 11月20日（日）～11月末
会場 森吉コミュニティセンター
内容 ステージ発表、作品展示

阿仁文化交流のつどい

○阿仁公民館 ☎82・2220
演示日時 11月6日（日） 10時～15時
展示期間 11月5日（土）、6日（日） 9時～15時
会場 阿仁ふるさと文化センター
内容 ステージ発表、作品展示



阿仁公民館公開講座

○阿仁公民館 ☎82・2220

「EM石けん」づくり教室

日時 11月25日（金） 10時～
会場 阿仁公民館
講師 佐藤正氏／参加料 5000円
持ち物 牛乳の空きパック2個、軍手
締切 11月18日（金）／定員 10人

合川公民館公開講座

○合川公民館 ☎78・2114

年賀状にも使える！幸せbird ハンコ講座

日時 11月18日（金） 10時～12時
会場 合川公民館
講師 米屋智子氏
参加料 500円（材料費）
持ち物 手元用メガネ（必要な方）、使い慣れているカッター

※参加者には作ったハンコのほかに「Happy New Year」のハンコを差し上げます。
締切 11月14日（月）／定員 7人

今月のおすすめの本を紹介！

- 鷹巣図書館 ☎62・3311
- ▽トットちゃんとうぐすくの戦争（黒柳徹子 著、田原総一朗 著）
- ▽危険なビーナス（東野圭吾 著）
- ▽罪の声（塩田武士 著）
- ▽ゼロの激震（安生正 著）

ふるさとの文化財

「縄文時代編」

12

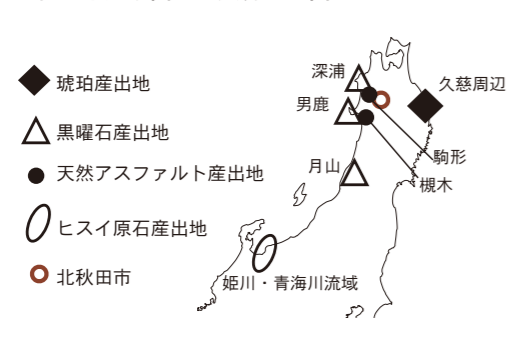
○琥珀（二重鳥A遺跡出土）

琥珀は主に杉や松などの樹液が化石のように固まったもので、半透明な銜色特徴的な宝石の一種です。日本では岩手県久慈市付近が主要な産地として知られていますが、縄文時代より前、旧石器時代約2万年前の北海道の遺跡から琥珀を加工した小玉が見つかったり、はるか大昔からその美しさに注目し、装身具として利用されていたことがうかがえます。

写真は森吉山ダム建設地の二重鳥A遺跡で見つかった琥珀です。斜面に投棄され粉々に割れた土器のかげらに混じって見つかりました。大きさは小指の先ほどの塊で加工した痕跡はありません。このほか琥珀のかげらもたくさん見つかっています。一緒に出土した土器からおよそ5500年前の縄文時代前期後半のものと考えられます。この塊から何を作ろうとしていたのでしょうか。



北秋田市遺跡出土の交易品産出地



▽紹介者／北秋田市教育委員会生涯学習課文化係